



令和6年度関東学生馬術競技大会

第59回関東学生賞典障害馬術競技大会
第59回関東学生賞典馬場馬術競技大会
第75回関東学生賞典総合馬術競技大会
令和6年度関東学生MD障害馬術競技

令和6年6月19日～23日

於:JRA馬事公苑

主催:関東学生馬術協会

日本大学 アンナボルトニク選手 / 日本大学 越後 りの選手

協賛いただきました企業様
ご支援賜りまことにありがとうございました。



Bloodhorse Training Center

BTCとは

日本最大の調教場の運営・管理・賞与から

育成調教技術者の養成と

育成調教技術の改善・普及活動をしている公益財団法人です



詳しくは公式ホームページをチェック



公益財団法人 軽種馬育成調教センター
(お問い合わせ) TEL. 0146-28-1001



▲最新の求人情報は
<https://bokujob.com/>

馬と生きる。牧場のしごと発見プロジェクト

BOKUJOB

あの日の夢を、
 叶える場所へ。

競走馬 生産・育成牧場 就業応援サイト
 「BOKUJOB.com」



BOKUJOB YouTube チャンネル

人気グラビアアイドル「橋本萌花」の
 牧場のお仕事チャレンジ動画を配信中!
 全国の生産・育成牧場の紹介動画や
 牧場就業を検討するうえで参考になる
 動画もこちらでご覧いただけます。



詳しくはこちら!

牧場就業を目指す若者を応援!



気軽に参加
 スマホでもOK!

BOKUJOB Web相談会

競走馬の生産・育成牧場の仕事や魅力について、
 牧場で実際に働いているスタッフの方々と
 オンラインで個別に面談できます。

オンラインで
 牧場と
 話ができる!

開催時間 9:00~18:00

参加対象 ○牧場就業に興味のある方
※保護者の方や進路指導の先生のご参加も歓迎です。

○原則中学3年生以上の方

参加手法 ○ビデオ会議ツールZoomを使った
 個別面談形式の相談会

※ビデオ会議ツールZoomを使用して行いますので、PCやタブレット、
 スマートフォン端末および通信環境のご用意が必要です。

お問い合わせ BOKUJOB 運営事務局



TEL:03-6432-0980 (応対時間:平日10~16時) FAX:03-6432-0078

e-mail:bokujob.jimukyoku@support.bokujob.com

<https://support.bokujob.com/>

詳しくはこちら!

祝 令和6年度 関東学生馬術大会



JRA 関連企業

JRAファシリティーズ株式会社

JRAファシリティーズ株式会社は、競馬場などの施設管理、レーシングプログラムや馬名入りゼッケンの作製、競走馬の飼糧・敷料・サプリメントなどの販売など、あらゆるシーンで「競馬」の円滑な運営をサポートする企業です。



馬の飼養管理に関する素朴な疑問や、当たり前と思っていることの科学的根拠や有効性など、皆様から頂いた質問に馬の栄養・飼料のプロがQ&A形式でお答えいたします。

カイバ道場



詳しくはHPをご覧ください
<https://www.jra-f.co.jp/>



Support university equestrian

学生馬術を 応援。



乗馬用品・馬具専門店ジョッパーズ
<http://jodhpurs.jp>

学割などのご相談、資料請求はお気軽に。

乗馬ウェアや馬具で学生馬術をサポートします。

☎0120-969-232(学生馬術担当まで)

✉ biz@jodhpurs.jp

卒業しても馬と共に

— 会社にも馬術部があります —

◆ メーカー・機械・建設
TOPPANエッジ馬術部
パナソニック馬術部
パナソニックシステム
ネットワークス馬術部
レックス工業馬術部
ソニー馬術部
青波馬術愛好会
(住友重機械工業)
梅村建工馬術部
クリエイティブ
テクノロジー
乗馬愛好部

◆ 情報・通信
NTT馬術部
日本IBM馬術部
日立グループ馬術部
富士通馬術部
グーグル馬術部
LINEヤフー乗馬部
三菱総合研究所馬術部

◆ 公社・官公庁・団体
警視庁乗馬同好会
皇宮警察本部
衆議院乗馬会
都庁・特別区乗馬部
防衛省乗馬同好会
TMG乗馬同好会
F.R.C. book farm
日本知的財産協会馬術部

◆ 金融・商社
伊藤忠商事相互会乗馬部
SOMPOホールディングス馬術部
三井物産乗馬部
山田コンサルティンググループ乗馬同好会

◆ リテール・サービス
社会人昭和大学ライディングチーム
日本馬事普及馬事研究部
エグゼクティブコーチ馬術部
中部国際空港馬術部
日本電気保安協会馬術部

関連会社社員も入部できる場合があります
(例) NTT馬術部にはNTTドコモなど
グループ会社の社員も入部できます

※ 正式な団体名称は下部加盟団体をご覧ください

会社に馬術部がない場合、会社に馬術部を設立して社馬連へ加盟できます

企業・官公庁の馬術部が集まる日本社会人団体馬術連盟です

こんなにある！
社馬連のメリット

- 連盟主催の競技会や講習会、資格審査会などに参加可能
- 提携乗馬クラブや乗馬用品ショップでの割引などの特典
- 貸与馬にてリーズナブルに競技会に出場できます
- 異業種他社の会員の方々と交流できます
- 馬事に関する社会貢献活動などに参加できます

CHECK! →



OB/OG訪問、会社紹介、馬術部設立アドバイスや個別お問い合わせフォームなど
学生の皆様への社馬連情報サイト <https://jbg.jp/univ> へアクセス!



日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

日本社会人団体馬術連盟(社馬連/JBG)は日本馬術連盟の組成団体の1つとして
スポーツ馬術を通じた企業の社会貢献と乗馬の普及・馬事の振興を目指しています

Homepage: <https://www.jbg.jp/> Email: shabaren@jbg.jp Tel: 03-3297-5630



<https://jbg.jp/f>



<https://jbg.jp/t>



<https://jbg.jp/y>



<https://jbg.jp/i>



<https://jbg.jp/l>

伊藤忠商事(株)相互会乗馬部 / 梅村建工(株)馬術部 / クリエイトテクノロジー乗馬愛好部 / 警視庁馬術クラブ / 皇宮警察本部 / 社会人昭和大学ライディングチーム / 衆議院乗馬会 / SOMPOホールディングス馬術部 / 都庁・特別区乗馬部 / TOPPANエッジ(株)馬術部 / 日本アイ・ビー・エム(株)馬術部 / パナソニック(株)馬術部 / パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部 / 富士通(株)馬術部 / 防衛省乗馬同好会 / 三井物産(株)乗馬部 / レックス工業(株)馬術部 / 青波馬術愛好会 / F.R.C. book farm / ゴーグル合同会社馬術部 / ソニー馬術部 / 中部国際空港馬術部 / TMG乗馬同好会 / 日本知的財産協会馬術部 / (株)日本電気保安協会馬術部 / (株)日本馬事普及馬事研究部 / (株)三菱総合研究所馬術部 / 山田コンサルティンググループ乗馬同好会 / LINEヤフー乗馬部 / エグゼクティブコーチ(株)馬術部 / NTT馬術部 / 日立グループ馬術部

(2024年3月31日 現在)



タフロック・ジャパン

学割や競技者特割で販売中



注文方法：

電話：080 - 4194 - 7447

メール：tuffrock@me.com

**ONLINE STORE
YOUTUBE · SNS** 



FALABELLA FARM
MINIATURE HORSE



 **Samshield**
REVEALING EQUUS



Photo: Stefan Laifrenz


SCHOCKEMÖHLE
SPORTS



 **Sergio Grasso**

学生様ご優待

カバロ東京本店または池袋店で
お買い物の際に学生証をご提示ください。
定価より20%オフでご購入いただけます
(書籍・セール商品を除く)

ニッケ商事株式会社


CAVALLO
<http://www.cavallo-net.com>

■カバロ東京 本店
〒158-0098
東京都世田谷区上用賀2-4-18 3F
TEL:03-3425-8844

■カバロ東京 池袋店
〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-39-7 2F
TEL:03-3590-2777

祝！令和6年度関東学生馬術競技大会

Galileo

馬具・乗馬用品の取り扱い総数店は充実の1000種以上！
180以上の銘柄からお好みの商品をお選びいただける
日本最大級の輸入代理馬具店です！

ホームページに掲載していない商品、
メーカーもございますので
お気軽にお問い合わせください♪

この広告を見た方限定！！！！
ネットショップにて¥5,000以上お買い上げで
ご利用いただけるクーポンをプレゼント！

クーポンコード:Kanto2024
期間:2024.6.19-6.30

10%
OFF

Instagram



Home page



SCAN HERE



HORSY
INTERNATIONAL CO.,LTD.

学生割引

通常20%OFFを

30%OFF 一部対象外商品あり

アウトレット商品

通常学生割引対象外商品を
アウトレット価格からさらに

20%OFF

学生証のご提示をお願いします

6月1日 - 6月30日 限定

日本馬事普及 SHOW ROOM
東京都世田谷区桜3-13-9パセーオ馬事公苑1F
TEL. 03-5451-7311

【加盟大学一覽】



青山学院大学



麻布大学



茨城大学



宇都宮大学



学習院大学



群馬大学



慶応義塾大学



慶応義塾大学
(医学部)



昭和大学



成蹊大学



成城大学



専修大学



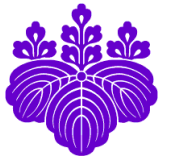
拓殖大学



千葉大学



中央大学



筑波大学



東海大学



東京大学



東京医科大学



東京農業大学



東京農工大学



日本大学



日本医科大学



日本獣医生命科学大学



法政大学



明治大学



立教大学



早稲田大学

第59回関東学生賞典馬場馬術競技大会
第59回関東学生賞典障碍飛越競技大会
第75回関東学生賞典総合馬術競技大会
ご挨拶



関東学生馬術協会
会長 諸岡 慶

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、いよいよ当関東学生馬術協会主催競技の中では、もっとも権威ある大会であり、チャンピオンシップでもあります本競技会が開催されます。協会では、学生の指導育成や安全確保の観点も含めて、より魅力ある競技会にするにはどのようにすべきかを役員・学生が真剣に話し合い、本日を迎えております。

本大会は11月に行われる全日本学生馬術大会へつながる道であり、選手はじめ部員一同はこの競技会で結果を出すべく、監督・コーチの指導を仰ぎながら切磋琢磨し、技術の向上に努めております。この気持ちは、いつの時代も変わらないものだと思っております。参加する選手諸君には、オリンピックに出場する選手が経験したこの歴史ある大会を誇りに思い、ホースマンシップとスポーツマンシップに則り、最高の騎乗が出来るように、そして選手を支えている部員の皆さんも含め、全人馬が怪我なく終えるように祈念しております。また全日本学生馬術大会へのクオリファイを、各人馬が得て頂きますよう祈念します。

最後になりますが、大会開催にご尽力賜りました協賛企業の皆様をはじめJRA馬事公苑の皆様、大会役員並びに関係者の皆様には、この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

役員リスト (敬省略・順不同)

大会会長	諸岡 慶							
大会副会長	宇野 昭浩							
顧問	大久保 公裕	小川 諄	竹田 恒和	長友 満則	橋本 茂	安岡 嘉彦	山内 英樹	
	山岸 哲男							
関東学生救護医師団長	松田 潔							
参与	酒葉 政行	内容 武司	大場 泰子	木村 至	龍 家圭	久保田 隆夫	伊藤 督倫	
	西山 慶太	阿部 和実	伊藤 剛二	嶋田 稔	山田 武	相川 雅紀	井上 敬一郎	
	野口 陽	臼井 昭	宮木 康光	伊藤 五志	土橋 武雄	大藪 俊介		
幹事長	小黒 友葉 (麻布)							
副幹事長	後藤 歩 (東京農工)		高階 拓真 (法政)					
大会委員長	加藤 佐代子							
救護医師	大橋 成孝	杉山 一郎	古川 一博	東野 有依	松田 潔			
救護看護師	伊丹 恵							
救急救命士								
獣医師代表	足立 亮							
獣医師	有江 清枝	松本 真実						
装蹄師	北村 莉沙	前田 圭太						
【障害】								
審判員	加藤 佐代子	水田 貴	平松 志都花	松尾 博幸				
コースデザイナー	山岸 達彦	村田 達哉	木村 勇也					
【馬場】								
審判員	加藤 佐代子	水田 貴	河野 正寿	小川 登美夫	月川 万里子			
	白川 将基	与田 誠二						
【総合】								
Jコースデザイナー	大町 孝浩							
Vコースデザイナー	広川 英峻							
競技TD	細野 茂之							
審判員	水田 貴	田中 良治郎	高桑 浩彰					
競技運営委員長	大町 孝浩							
競技委員	葦塚 昭夫 (専修)		長倉 華徳 (東京農業)		中山 颯慈 (早稲田)			
チーフスチュワード	大谷 倫弘							
スチュワード	孕石 智司	川崎 長門	齋藤 まとい	友松 円理	田神 真優	小林 昂嗣 (青山学院)		
	居平 空知 (東京)		渡邊 太介 (学習院)		馬場 宥透 (関西学生馬術連盟)			
ステーブルマネージャー	後藤 歩 (東京農工)							
記録計算委員	平松 直人		丸山 芽衣 (法政)		稲葉 未紘 (中央)			
	三浦 寧子 (東京)		渡邊 湊 (東海)		青山 莞太郎 (関西学生馬術連盟)			
	三枝 涼 (北日本学生馬術連盟)							
会計委員	齋藤 百香 (学習院)		瀧澤 香月 (麻布)					
放送委員	梅村 晏生 (明治)		廣瀬 創子 (慶應義塾)					
広報委員	村上 優月 (日本獣医生命科学)				木村 眞湮菜 (立教)			
	渡邊 菜々美 (拓殖)							
渉外委員	板垣 翔明 (日本)		斉藤 未来夏 (学習院)					
総務委員	高廣 峻良 (日本獣医生命科学)				内田 峻太 (青山学院)			
	中山 凛久 (学習院)							
表彰委員	梁 景太		石原 ほのか (青山学院)		高橋 孝介 (学習院)			
	齋藤 琴海 (日本獣医生命科学)							

令和 6年度関東学生馬術競技大会 実施要項

1. 主催 関東学生馬術協会

2. 期日 令和 6 年 6 月 19日(水)～6 月 23 日(日)

3. 場所 JRA馬事公苑

4. 競技日程

6 月 19 日 (水) 入厩日、フレンドシップ競技

6 月 20 日 (木) 第 59 回関東学生賞典障害馬術競技大会(二回走行)
関東学生 MD 障害馬術競技

6 月 21 日 (金) 第 59 回関東学生賞典馬場馬術競技大会
第 75 回関東学生賞典総合馬術競技大会
(インスペクション)

6 月 22 日 (土) 第 75 回関東学生賞典総合馬術競技大会(馬場馬術)

6 月 23 日 (日) 第 75 回関東学生賞典総合馬術競技大会
(クロスカントリー及び障害馬術)

第 59 回関東学生賞典障害馬術競技大会実施要項

関東学生賞典障害飛越馬術競技大会の実施要項は、次の通りとする。

(1) 参加資格

- a. 人馬の参加資格は関東規程第 4 条第 1 項各号の条件を満たさなければならない。また、選手については全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級、または日本馬術連盟（以下 JEF と略す）騎乗者資格 B 級以上を取得していること。
- b. 各校 5 人馬までとし、人馬ともに各々 1 回しか出場できない。
- c. オープン参加は認めない。
- d. 下乗りをする者は、いかなる場合でも必ず 3 点固定式ヘルメット及びバックガードまたはエアーストを着用すること。
- e. 出場する際にはエアーストとバックガードの両方、または片方の着用を義務づける。ただし、両方の着用を推奨する。

(2) 競技規程

- a. JEF 競技会規程を適用し、採点は、基準 A を採用する。
- b. この競技は団体戦兼個人戦の 2 回走行で行われる。第 2 回走行についてはリバースオーダーにはしない。
- c. チームとして参加した選手が失権となった場合は、500 点の減点を与える。
- d. 障害物の高さ及び幅、障害の個数等については以下の通りとする。
 - 同一コースによる 2 回走行とし、高さ 1.30m 以内、幅 1.50m 以内とする。
 - 障害個数については 11 障害、14 飛越以内とする。
 - 三段横木障害の幅については、上記規程にとらわれないものとするが最大 1.80m 以内とする。
 - 水濠障害は設けない

(3) 順位決定法

- a. 団体順位は、各チームの第 1 回目走行の上位 3 名と第 2 回目走行の上位 3 名の、総減点の少ないチームを上位とする。同点の場合は、上記の者の**第2回目走行**の合計走行タイムが早いチームを、上位とする。同減点・同タイムのチームが出た場合は、各チームの第3位の者の減点が少ない（同減点の場合は**第2回目走行**のタイムが早い）チームを上位とする。更に同減点・同タイムの場合は第2位の者の減点が少ない（同減点の場合は**第2回目走行**のタイムが早い）チームを上位とする。
- b. 第 1 回走行において失権しても、第 2 回走行に出場する事が出来る。
- c. 個人順位は、第 1 回走行の減点、及び第 2 回走行の減点を通算し、合計減点が少ない者、同減点の場合は第2回目走行のタイムが早い者を上位とする。合計減点で、最少減点の者が複数いた場合は、1 回のジャンプオフを実施する。

(4) 表彰及びランキングポイント

- a. 団体は、6 位までを表彰する。
- b. 個人は、出場頭数の 1/4 までを表彰する。
- c. 別表 1-（1）に従い、出場人馬にランキングポイントを与える。

令和 6 年度関東学生 MD 障害馬術競技

関東学生MD 障害馬術競技大会の実施要項は、次の通りとする。

(1) 参加資格

- a. 人馬の参加資格は関東規程第 4 条第 1 項各号の条件を満たさなければならない。また、選手については全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級、または日本馬術連盟（以下 JEF と略す）騎乗者資格 B 級以上を取得していること。
- b. 賞典障害飛越馬術競技との合計で各校 5 人馬までとし、人馬ともに各々 1 回しか出場できない。人馬ともに賞典障害飛越馬術競技と兼ねて出場することはできない。
- c. オープン参加は認めない。
- d. 下乗りをする者は、いかなる場合でも必ず 3 点固定式ヘルメット及びバックガードまたはエアーストを着用すること。
- e. 出場する際にはエアーストとバックガードの両方、または片方の着用を義務づける。ただし、両方の着用を推奨する。

(2) 競技規程

- a. JEF 競技会規程を適用する。
- b. 採点は、JEF 競技会規程 274.2（基準 A、特別二段階）を採用する。
- c. 障害物の高さ及び幅については、JEF 競技会規程の中障害 D を適用する。

(3) 表彰

- a. 上位 3 位まで、もしくは、出場頭数の 1/4 までの多い方を表彰する。

第 59 回関東学生賞典馬場馬術競技大会実施要項

関東学生賞典馬場馬術競技大会の実施要項は、次の通りとする。

(1) 参加資格

- a. 人馬の参加資格は、関東規程第 4 条第 1 項各号の条件を満たさなければならない。また、選手については全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級、または JEF 騎乗者資格 B 級以上を取得していること。（馬場限定可）
- b. 各校 4 人馬までとし、人馬ともに各々 1 回しか出場できない。
- c. オープン参加は認めない。

(2) 競技規程

- a. JEF 競技会規程を適用する。
- b. 運動課目は、JEF 馬場馬術課目第 5 課目 A 2022 を用いる。

(3) 順位決定法

- a. 団体順位は、各チームの上位 3 名の得点率ポイント合計が高いチームを上位とする。同点の場合は、各チームの第 3 位の者の得点率の高いチームを上位とする。更に同点の場合は第 2 位の者の得点率の高いチームを上位とする。またチームとして参加した選手が失権となった場合は、得点を 0% として団体の合計点数が計算される。
- b. 個人順位は、JEF 競技会規程によって順位を決定する。

(4) 表彰及びランキングポイント

- a. 団体は、6 位までを表彰する。
- b. 個人は、出場頭数の 1/4 までを表彰する。
- c. 別表 1 (1) に従い、出場人馬にランキングポイントを与える。

第 75 回関東学生賞典総合馬術競技大会実施要項

関東学生賞典総合馬術競技大会の実施要項は、次の通りとする。

(1) 参加資格

- a. 人馬の参加資格は関東規程第 4 条第 1 項各号の条件を満たさなければならない。また、選手については全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級、または JEF 騎乗者資格 B 級以上を取得していること。なお、選手、及び馬匹は、過去に JEF EV75 競技（旧プレノービス）以上のクロスカントリーを完走した実績を有すること。さらに十分トレーニングし、人馬共に安全に走行できることを各大学において判断すること。
- b. この競技では 6/21 に馬のインスペクションを実施する。インスペクションには各大学1頭の予備馬が参加できる。
- c. 各校 5 人馬までとし、人馬ともに各々 1 回しか出場できない。
- d. 参加申し込み頭数が 70 頭以上になった場合は、出場を制限することがある。
- e. オープン参加は、クロスカントリー競技のみ認める。但し、上記 a. を満たすこと。また、頭数制限をする場合がある。また、出場順は成績対象全人馬の走行後ただちに行う。
- f. 下乗りをする者も含み騎乗者は、いかなる場合でも必ず 3 点固定式ヘルメットを着用すること。
- g. クロスカントリー競技に出場する際にはボディプロテクターの着用、メディカルカードの携帯を義務づけ、エアベストの使用はこれを推奨する。ボディプロテクターがない場合は、バックガードとエアベスト、両方の着用を義務づける（2024年度までの経過措置）。障害飛越競技に出場する際にはエアベストとバックガードの両方、または片方の着用を義務づける。ただし、両方の着用を推奨する。

(2) 競技規程

- a. JEF 競技会規程を適用する。
- b. 馬場馬術競技の運動課目は、FEI 総合馬術競技1スター 2024 馬場馬術課目 B（令和6年1月1日施行）を用いる。
- c. クロスカントリー競技は、EV95 クラスとする。但し難易度の高い障害にはロングルートを設定する。
- d. 障害馬術競技は、EV95 クラスとする。
- e. チームとして参加した選手が失権または途中棄権となった場合は、1,000 点の減点を与える。

(3) 順位決定法

- a. 団体順位は、各チームの上位 3 名の総減点が少ないチームを上位とする。同点の場合は各チームのクロスカントリースコア合計の良いチームを上位とする。更に同点の場合は、各チームの馬場馬術競技の合計が多いチームを上位とする。
- b. 個人順位は、JEF 競技会規程によって順位を決定する。

(4) 表彰及びランキングポイント

- a. 団体は 6 位までを表彰する。
- b. 個人は、出場頭数の 1/4 までを表彰する。
- c. 別表 1-(1)に従い、出場人馬にランキングポイントを与える。

関東学生馬術競技大会 3 種目総合

(1) 順位決定法

別表 1-(1)に従い、各チームの全選手の獲得ポイントを計算し、3 種目に全て参加し、かつ合計ポイントの多いチームを上位とする。同点の場合は、同順位とする。

(2) 表彰

第 8 位までの団体を表彰する。

令和6年度関東学生馬術競技大会応募要項

(1) フレンドシップ

- a. 令和6年6月19日(水)に行う。
- b. (1) 95 cm～105 cmクラス (2) 105 cm～115 cmクラスの順に行う。
- c. 参加料は3,000円とし、騎乗者の制限はしない。
- d. エントリーは1頭あたり合計2走行までとする。
- e. フレンドシップの当日の追加は、各馬1回のみとする。
- f. 1個目の障害を飛越、もしくは飛越を試みてから60秒以内とする。
- g. 競技が始まってからも棄権は受け付けるが、エントリー料は徴収する。

(2) 馬の入退厩等 (JRA馬事公苑)

- a. 入厩は、令和6年6月19日(水)6:00以降とする。(各日17:00まで)
- b. 上記の時間に入厩出来ない団体は、必ず当協会ステーブルマネージャー 後藤(070-4348-9474)まで事前に連絡すること。入厩後は速やかに健康手帳を大会本部へ提出して入厩審査を受けること。入厩審査が完了するまでは馬匹を馬房から出してはならない。入厩審査後、大会本部にて受け取ってない馬番を受け取ること。
- c. 退厩は、厩舎清掃後、当協会ステーブルマネージャーのチェック後に行うこと。
- d. 厩舎使用料は敷料馬糞処理量を含め一日2,500円とする。
- e. 入退厩時は、6:00～9:00及び17:00～19:00に入退厩する場合は正門から入苑すること。9:00～17:00に入退厩する場合は中型馬運車は馬運車門から入苑すること。大型馬運車は正門から入苑し、当協会担当者の誘導のもと入厩すること。
- f. 賞典馬場馬術競技、賞典障害馬術競技、MD障害飛越競技は出場する馬匹のみ、賞典総合馬術競技は出場する馬匹と予備馬1頭までのみ入厩可とする。

(4) 打ち合わせ会

- a. 各競技前日の全競技終了後に対面にて行う。
- b. 各競技の最終決定事項を知らせるので出場大学は必ず出席すること。欠席した場合は棄権とみなす。
- c. すべての変更等は、打ち合わせ会で決定したことが最優先されます。

(5) その他

- a. 施設の利用に関しては、施設利用心得を厳守すること。
- b. 苑内での火器の使用及び喫煙は一切禁止とする。
- c. 馬糧は各自にて持参すること。事前搬入については入厩日前日の13:00～17:00のみ可とする。事前搬入する場合は一週間前までに当協会幹事長に連絡すること。退厩の際は全て持ち帰ること。敷料については、おが粉とし、会場で用意する。また厩舎及び周辺を清掃し、ゴミ等を一切残さないこと。
- d. 馬を取り扱う時は選手、馬付きに関わらず、必ず3点固定式ヘルメットと手袋を着用すること。
- e. 期間中の人馬の事故等に対しては、大会役員の連絡をもって応急措置を行うが、その責任は負わない。競技期間は救護医、獣医師、装蹄師が待機する。
- f. 競技場、もしくは練習場において落馬した騎乗者は、選手であるかどうか落馬した状況の如何に関わらず、救護メディカルスタッフ(医師、救護師、救急救命士いずれか)のチェックを受け、再騎乗の許可がなければ再騎乗することは許されない。許可を得ずに再騎乗した場合は、それ以降の競技の出場を認めないなどのペナルティを課すことがある。(全日程適用)
- g. 障害飛越競技に出場する際にはエアバッグガードとバッグガードの両方、または片方の着用を義務付ける。

- h. ホースマネージャー棟については主将主務ラインにて使用希望を個人名含めて集める。利用者が変更する場合は、一週間前までに申し出ること。各大学綺麗に使用し、退出時は清掃すること。使用料として1床1,705円請求する。
- i. 曳馬中、運動中、ハック中は馬付きを伴って行動し、ボロは必ず各校で拾うこと。これに違反した場合は罰金を科することがある。
- j. 期間中の人馬の事故等に対しては、大会役員への連絡をもって応急処置を行うが、その責任は負わない。競技期間は、医師、獣医師、装蹄師が待機する。
- k. 競技場、もしくは練習場において落馬した騎乗者は、選手であるかどうか、落馬した状況の如何にかかわらず、救護メディカルスタッフ(医師、看護師、救急救命士いずれか)のメディカルチェックを受け、再騎乗の許可がなければ再騎乗することは許されない。許可を得ずに再騎乗した場合はペナルティーを課すことがある。(全日程適用)

別表1-(1) ランキングポイント表

順位	ポイント	順位	ポイント
1	100	21	32
2	90	22	30
3	85	23	28
4	81	24	26
5	78	25	24
6	75	26	23
7	72	27	22
8	69	28	21
9	66	29	20
10	63	30	19
11	60	31	18
12	57	32	17
13	54	33	16
14	51	34	15
15	48	35	14
16	45	36	13
17	42	37	12
18	39	38	11
19	36	39	10
20	34		

※その他

障害・・・完走 5 点 参加点 2 点

総合・・・完走 10 点 参加点 2 点

馬場・・・45%未満又は 40 位以下は参加点として 2 点

～過去成績～

【賞典障害飛越競技】

回数	年度	団体優勝	2位	3位	個人優勝
：	：	：	：	：	：
第8回	昭和48年	中央大学	日本大学	専修大学	板倉 啓文（青山学院大学）
第9回	昭和49年	日本大学	中央大学	専修大学	園田 政伸（日本大学）
第10回	昭和50年	日本大学	中央大学	立教大学	小林 欣一（中央大学）
第11回	昭和51年	日本大学	東京大学	中央大学	上手 邦夫（東京農工大学）
第12回	昭和52年	日本大学	東京農業大学	麻布獣医科大学	稲垣 裕（立教大学）
第13回	昭和53年	麻布獣医科大学	日本大学	立教大学	野口 薫（麻布大学）
第14回	昭和54年	専修大学	日本大学	麻布獣医畜産大学	湊 哲也（専修大学）
第15回	昭和55年	日本大学	中央大学	専修大学	原 直昭（日本大学）
第16回	昭和56年	日本大学	専修大学	中央大学	細田 装一（慶應義塾大学）
第17回	昭和57年	専修大学	日本大学	明治大学	丸茂 和久（慶應義塾大学）
第18回	昭和58年	日本大学	専修大学	慶應義塾大学	宇野 昭浩（麻布大学）
第19回	昭和59年	専修大学	日本大学	青山学院大学	小島 博（宇都宮大学）
第20回	昭和60年	日本大学	専修大学	明治大学	高橋 章人（明治大学）
第21回	昭和61年	専修大学	日本大学	早稲田大学	南 承孝（早稲田大学）
第22回	昭和62年	東京農業大学	日本大学	専修大学	松浦 修作（麻布獣医大学）
第23回	昭和63年	日本大学	明治大学	専修大学	加藤 有大（日本大学）
第24回	平成元年	専修大学	慶應義塾大学	明治大学	蔦木 学（中央大学）
第25回	平成2年	明治大学	日本大学	中央大学	加藤 有大（日本大学）
第26回	平成3年	日本大学	専修大学	明治大学	宮下 誓夫（日本大学）
第27回	平成4年	明治大学	日本大学	法政大学	佐伯 光夫（明治大学）
第28回	平成5年	明治大学	中央大学	日本大学	斉藤 吉則（日本獣医畜産大学）
第29回	平成6年	明治大学	日本大学	慶應義塾大学	萩原 克庸（法政大学）
第30回	平成7年	明治大学	日本大学	専修大学	川俣 亮介（青山学院大学）
第31回	平成8年	明治大学	中央大学	東京農業大学	福島 大輔（明治大学）
第32回	平成9年	明治大学	日本大学	東京農業大学	福島 大輔（明治大学）
第33回	平成10年	日本大学	東京農業大学	明治大学	大岩 義明（明治大学）
第34回	平成11年	明治大学	東京農業大学	中央大学	福島 大輔（明治大学）
第35回	平成12年	明治大学	東京農業大学	青山学院大学	霜出 しおり（専修大学）
第36回	平成13年	明治大学	専修大学	日本大学	楠木 貴成（明治大学）
第37回	平成14年	東京農業大学	明治大学	専修大学	成瀬 亜紀子（青山学院大学）
第38回	平成15年	明治大学	東京農業大学	日本大学	澤田 麻衣子（青山学院大学）
第39回	平成16年	明治大学	日本大学	東京農業大学	佐藤 賢希（明治大学）
第40回	平成17年	明治大学	専修大学	東京農業大学	森 裕悟（専修大学）
第41回	平成18年	日本大学	専修大学	明治大学	沼尻 孝夫（専修大学）
第42回	平成19年	明治大学	専修大学	日本大学	柘植 和也（明治大学）
第43回	平成20年	日本大学	早稲田大学	専修大学	金本 行誠（早稲田大学）
第44回	平成21年	早稲田大学	日本大学	専修大学	斉藤 功貴（明治大学）

第45回	平成22年	明治大学	早稲田大学	日本大学	吉田 学人 (明治大学)
第46回	平成23年	日本大学	早稲田大学	明治大学	鳥谷部 健太 (日本大学)
第47回	平成24年	明治大学	早稲田大学	日本大学	照井 駿介 (早稲田大学)
第48回	平成25年	専修大学	明治大学	日本大学	柿澤 小夜子 (日本大学)
第49回	平成26年	日本大学	明治大学	早稲田大学	大森 康平 (明治大学)
第50回	平成27年	明治大学	早稲田大学	中央大学	横山 奈緒美 (中央大学)
第51回	平成28年	日本大学	立教大学	明治大学	吉田 匡慶 (東京農業大学)
第52回	平成29年	麻布大学	日本大学	東京農業大学	吉田 匡慶 (東京農業大学)
第53回	平成30年	日本大学	専修大学	明治大学	吉永 一篤 (日本大学)
第54回	令和元年	日本大学	専修大学	早稲田大学	近藤 舞宝 (専修大学)
第55回	令和2年	日本大学	明治大学	早稲田大学	吉田 光佑 (早稲田大学)
第56回	令和3年	日本大学	明治大学	立教大学	鶴見 汐花 (早稲田大学)
第57回	令和4年	早稲田大学	明治大学	日本大学	白石 侑也 (明治大学)
第58回	令和5年	日本大学	明治大学	早稲田大学	アンナボルトニク (日本大学)

【賞典馬場馬術競技】

回数	年度	団体優勝	2位	3位	個人優勝
:	:	:	:	:	:
第8回	昭和48年	慶應義塾大学	日本大学	明治大学	斉藤 庫之函 (慶應義塾大学)
第9回	昭和49年	慶應義塾大学	日本大学	学習院大学	塩田 俊 (慶應義塾大学)
第10回	昭和50年	学習院大学	日本大学	中央大学	鈴木 美和子 (学習院大学)
第11回	昭和51年	学習院大学	日本大学	慶應義塾大学	田辺 和男 (学習院大学)
第12回	昭和52年	学習院大学	日本大学	明治大学	菅野 昭 (明治大学)
第13回	昭和53年	学習院大学	日本大学	専修大学	本田 治男 (専修大学)
第14回	昭和54年	専修大学	学習院大学	日本大学	本田 治男 (専修大学)
第15回	昭和55年	専修大学	日本大学	学習院大学	本田 治男 (専修大学)
第16回	昭和56年	専修大学	明治大学	日本大学	松本 謙 (専修大学)
第17回	昭和57年	専修大学	日本大学	明治大学	河北 浩峰 (日本大学)
第18回	昭和58年	専修大学	日本大学	明治大学	山川 勝弘 (専修大学)
第19回	昭和59年	専修大学	日本大学	中央大学	青山 辰美 (明治大学)
第20回	昭和60年	専修大学	日本大学	中央大学	岩谷 一裕 (日本大学)
第21回	昭和61年	日本大学	明治大学	中央大学	岩谷 一裕 (日本大学)
第22回	昭和62年	日本大学	明治大学	専修大学	伊藤 史人 (日本大学)
第23回	昭和63年	明治大学	中央大学	日本大学	久保田 貴士 (明治大学)
第24回	平成元年	明治大学	日本大学	慶應義塾大学	久保田 貴士 (明治大学)
第25回	平成2年	日本大学	明治大学	中央大学	上妻 和道 (日本大学)
第26回	平成3年	明治大学	専修大学	中央大学	白藤 淳 (慶應義塾大学)
第27回	平成4年	日本大学	明治大学	中央大学	土屋 毅明 (明治大学)
第28回	平成5年	日本大学	中央大学	専修大学	北原 広之 (明治大学)
第29回	平成6年	日本大学	明治大学	麻布大学	松本 崇志 (明治大学)
第30回	平成7年	明治大学	日本大学	専修大学	清水 友昭 (日本大学)

第31回	平成8年	明治大学	専修大学	日本大学	畠山 慶和 (明治大学)
第32回	平成9年	明治大学	中央大学	専修大学	岡田 一将 (中央大学)
第33回	平成10年	明治大学	中央大学	日本大学	稗田 龍馬 (日本大学)
第34回	平成11年	日本大学	明治大学	中央大学	岡田 一将 (中央大学)
第35回	平成12年	明治大学	日本大学	日本獣医畜産大学	片岡 杏子 (日本大学)
第36回	平成13年	日本大学	明治大学	青山学院大学	片岡 杏子 (日本大学)
第37回	平成14年	日本大学	明治大学	日本獣医畜産大学	片岡 杏子 (日本大学)
第38回	平成15年	日本大学	明治大学	日本獣医畜産大学	宇佐美 結生 (日本大学)
第39回	平成16年	明治大学	日本大学	早稲田大学	戸本 一真 (明治大学)
第40回	平成17年	明治大学	日本大学	専修大学	戸本 一真 (明治大学)
第41回	平成18年	明治大学	専修大学	日本大学	林 伸伍 (明治大学)
第42回	平成19年	明治大学	専修大学	早稲田大学	大友 和哉 (日本大学)
第43回	平成20年	明治大学	日本大学	専修大学	柘植 和也 (明治大学)
第44回	平成21年	明治大学	日本大学	早稲田大学	柘植 和也 (明治大学)
第45回	平成22年	明治大学	日本大学	早稲田大学	西脇 友彦 (明治大学)
第46回	平成23年	日本大学	明治大学	早稲田大学	吉田 学人 (明治大学)
第47回	平成24年	日本大学	明治大学	専修大学	坂口 智康 (専修大学)
第48回	平成25年	日本大学	明治大学	専修大学	柿澤 小夜子 (日本大学)
第49回	平成26年	日本大学	明治大学	日本獣医生命科学大学	沖廣 諒一 (日本大学)
第50回	平成27年	日本大学	明治大学	早稲田大学	沖廣 諒一 (日本大学)
第51回	平成28年	日本大学	明治大学	慶應義塾大学	沖廣 諒一 (日本大学)
第52回	平成29年	日本大学	明治大学	慶應義塾大学	細川 映里香 (日本大学)
第53回	平成30年	日本大学	専修大学	学習院大学	古野 博人 (日本大学)
第54回	令和元年	日本大学	専修大学	早稲田大学	古野 博人 (日本大学)
第55回	令和2年	日本大学	慶應義塾大学	立教大学	重藤 エディット彬 (日本大学)
第56回	令和3年	日本大学	中央大学	立教大学	重藤 エディット彬 (日本大学)
第57回	令和4年	日本大学	学習院大学	慶應義塾大学	楠本 將斗 (日本大学)
第58回	令和5年	日本大学	学習院大学	慶應義塾大学	越後 りの (日本大学)

【三種総合】

回数	年度	団体優勝	2位	3位	個人優勝
:	:	:	:	:	:
第3回	昭和27年	A	丹羽 (早稲田)	吉田 (東京農業)	石関 (慶應義塾)
		B	佐藤 (慶應義塾)	瀬谷 (法政)	富士川 (日本)
第4回	昭和28年	A	佐藤 (慶應義塾)	富沢 (慶應義塾)	唐沢 (農大)
		B	山岸 (慶應義塾)	太田 (専修)	林田 (早稲田)
第5回	昭和29年	A	吉原 (東京農業)	大島 (慶應義塾)	山岸 (慶應義塾)
		B	上条 (日本)	楠山 (早稲田)	難波 (慶應義塾)
第6回	昭和30年	A	藤村 (東京農業)	山岸 (慶應義塾)	大島 (慶應義塾)
		B	後藤 (日本)	目万 (法政)	永積 (学習院)
第7回	昭和31年	A	江口 (東京農業)	遠藤 (学習院)	影山 (成蹊)
		B	川越 (中央)	上里田 (東京農業)	田畑 (成蹊)

第8回	昭和32年	慶応義塾大学			広瀬 光雄
:	:	:	:	:	:
第12回	昭和36年	明治大学			木曾 敏彦 (明治大学)
第13回	昭和37年	東京農業大学			木曾 敏彦 (明治大学)
第14回	昭和38年	学習院大学			和田 浩一郎 (学習院大学)
第15回	昭和39年	東京農工大学			伊藤 敏 (東京農工大学)
第16回	昭和40年	早稲田大学			松平 正樹 (成蹊大学)
第17回	昭和41年	中央大学			三谷 稔
第18回	昭和42年	中央大学			山根 良彦 (明治大学)
第19回	昭和43年	中央大学			小手 隆久 (中央大学)
第20回	昭和44年	学習院大学			山崎 毅紀 (学習院大学)
第21回	昭和45年	中央大学	宇都宮大学	麻布獣医大学	朝日 吉行 (法政大学)
:	:	:	:	:	:
第24回	昭和48年	中央大学	麻布獣医大学	専修大学	鈴木 弘二 (中央大学)
第25回	昭和49年	中央大学	日本大学	専修大学	渡部 俊幸 (中央大学)
第26回	昭和50年	日本大学	中央大学	専修大学	殿谷 一成 (学習院大学)
第27回	昭和51年	中央大学	日本大学	東京大学	宮崎 栄喜 (日本大学)
第28回	昭和52年	日本大学	立教大学	専修大学	大橋 正行 (日本大学)
第29回	昭和53年	日本大学	専修大学	中央大学	諸岡 慶 (日本大学)
第30回	昭和54年	専修大学	日本大学		本田 治男 (専修大学)
第31回	昭和55年	日本大学	専修大学	東京農工大学	本田 治男 (専修大学)
第32回	昭和56年	専修大学	日本大学	中央大学	松本 謙 (専修大学)
第33回	昭和57年	専修大学	日本大学	慶応義塾大学	青木 雄二 (専修大学)
第34回	昭和58年	専修大学	日本大学	中央大学	富沢 健吾 (専修大学)
第35回	昭和59年	専修大学	日本大学	中央大学	荻野 豊 (専修大学)
第36回	昭和60年	専修大学	日本大学	中央大学	富沢 健吾 (専修大学)
第37回	昭和61年	日本大学	明治大学	中央大学	岩谷 一裕 (日本大学)
第38回	昭和62年	日本大学	明治大学	専修大学	伊藤 史人 (日本大学)
第39回	昭和63年	明治大学	中央大学	日本大学	久保田 貴士 (明治大学)
第40回	平成元年	日本大学	明治大学	中央大学	細野 茂之 (日本大学)
第41回	平成2年	明治大学	日本大学	中央大学	布施 勝 (明治大学)
第42回	平成3年	明治大学	専修大学	中央大学	山田 勉 (明治大学)
第43回	平成4年	日本大学	明治大学	中央大学	大塚 哲郎 (日本大学)
第44回	平成5年	日本大学	中央大学	専修大学	佐伯 光夫 (明治大学)
第45回	平成6年	日本大学	明治大学	麻布大学	佐々木 勝利 (日本大学)
第46回	平成7年	明治大学	日本大学	専修大学	佐伯 光夫 (明治大学)
第47回	平成8年	明治大学	専修大学	日本大学	清水 友昭 (日本大学)
第48回	平成9年	明治大学	中央大学	専修大学	衛藤 敬三 (明治大学)
第49回	平成10年	明治大学	中央大学	日本大学	福島 大輔 (明治大学)
第50回	平成11年	専修大学	明治大学	日本大学	稗田 龍馬 (日本大学)
第51回	平成12年	明治大学	専修大学	日本大学	楠木 貴成 (明治大学)
第52回	平成13年	明治大学	専修大学	日本大学	池添 学 (明治大学)
第53回	平成14年	明治大学	専修大学	麻布大学	池添 学 (明治大学)
第54回	平成15年	明治大学	専修大学	日本大学	林 伸伍 (明治大学)
第55回	平成16年	明治大学	日本大学	東京農工大学	戸本 一真 (明治大学)

第56回	平成17年	明治大学	専修大学	日本大学	佐藤 賢希 (明治大学)
第57回	平成18年	明治大学	日本大学	専修大学	佐藤 賢希 (明治大学)
第58回	平成19年	明治大学	専修大学	日本大学	吉澤 和紘 (専修大学)
第59回	平成20年	明治大学	日本大学	専修大学	大友 和哉 (日本大学)
第60回	平成21年	日本大学	専修大学	明治大学	伊藤 昌展 (日本大学)
第61回	平成22年	明治大学	日本大学	専修大学	斉藤 功貴 (明治大学)
第62回	平成23年	日本大学	明治大学	早稲田大学	上原 佑紀 (日本大学)
第63回	平成24年	日本大学	明治大学	専修大学	植田 俊輔 (専修大学)
第64回	平成25年	専修大学	明治大学	日本大学	大森 康平 (明治大学)
第65回	平成26年	日本大学	専修大学	東京農工大学	五十嵐 裕哉 (早稲田大学)
第66回	平成27年	日本大学	専修大学	明治大学	今橋 裕晃 (日本大学)
第67回	平成28年	日本大学	専修大学	明治大学	中村 幸喜 (明治大学)
第68回	平成29年	日本大学	明治大学	専修大学	中村 幸喜 (明治大学)
第69回	平成30年	日本大学	専修大学	早稲田大学	吉永 一篤 (日本大学)
第70回	令和元年	日本大学	東京農業大学	専修大学	名倉 賢人 (日本大学)
第71回	令和2年	日本大学	明治大学	専修大学	名倉 賢人 (日本大学)
第72回	令和3年	日本大学	専修大学	慶應義塾大学	瀬川 裕哉 (日本大学)
第73回	令和4年	日本大学	明治大学	早稲田大学	吉田 ことみ (日本大学)
第74回	令和5年	日本大学	早稲田大学	明治大学	アンナボルトニク (日本大学)

【3種目総合】

平成3年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	日本大学	第4位	中央大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	早稲田大学	第7位	立教大学	第8位	麻布大学
平成4年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	青山学院大学
第5位	中央大学	第6位	法政大学	第7位	立教大学	第8位	慶應義塾大学
平成5年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	中央大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	早稲田大学	第7位	青山学院大学	第8位	法政大学
平成6年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	中央大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	早稲田大学	第7位	青山学院大学	第8位	法政大学
平成7年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	中央大学	第4位	専修大学
第5位	青山学院大学	第6位	早稲田大学	第7位	学習院大学	第8位	麻布大学
平成8年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	中央大学	第4位	専修大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	早稲田大学	第7位	学習院大学	第8位	麻布大学
平成9年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	中央大学	第4位	専修大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	学習院大学	第7位	早稲田大学	第8位	立教大学
平成10年度							
優勝	明治大学	第2位	中央大学	第3位	日本大学	第4位	専修大学
第5位	学習院大学	第6位	東京農業大学	第7位	麻布大学	第8位	慶應義塾大学

平成11年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	中央大学
第5位	中央大学	第6位	立教大学	第7位	慶應義塾大学	第8位	青山学院大学
平成12年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	東京農業大学
第5位	中央大学	第6位	青山学院大学	第7位	立教大学	第8位	日本獣医畜産大学
平成13年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	日本大学	第4位	青山学院大学
第5位	立教大学	第6位	中央大学	第7位	東京農業大学	第8位	慶應義塾大学
平成14年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	日本大学	第4位	東京農業大学
第5位	青山学院大学	第6位	中央大学	第7位	法政大学	第8位	麻布大学
平成15年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	専修大学	第4位	東京農業大学
第5位	青山学院大学	第6位	中央大学	第7位	東海大学	第8位	学習院大学
平成16年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	東京農業大学
第5位	立教大学	第6位	青山学院大学	第7位	慶應義塾大学	第8位	日本獣医畜産大学
平成17年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	日本大学	第4位	東京農業大学
第5位	立教大学	第6位	慶應義塾大学	第7位	早稲田大学	第8位	青山学院大学
平成18年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	東京農業大学
第5位	早稲田大学	第6位	慶應義塾大学	第7位	日本獣医生命科学大学	第8位	麻布大学
平成19年度							
優勝	明治大学	第2位	専修大学	第3位	日本大学	第4位	早稲田大学
第5位	東京農業大学	第6位	日本獣医生命科学大学	第7位	学習院大学	第8位	慶應義塾大学
平成20年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	東京農業大学	第6位	日本獣医生命科学大学	第7位	立教大学	第8位	東京農工大学
平成21年度							
優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	東京農業大学	第6位	中央大学	第7位	日本獣医生命科学大学	第8位	東京農工大学
平成22年度							
優勝	明治大学	第2位	日本大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	日本獣医生命科学大学	第6位	東京農業大学	第7位	立教大学	第8位	麻布大学
平成23年度							
優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	早稲田大学	第4位	専修大学
第5位	立教大学	第6位	日本獣医生命科学大学	第7位	東京農業大学	第8位	筑波大学
平成24年度							
優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	立教大学	第6位	東京農業大学	第7位	日本獣医生命科学大学	第8位	慶應義塾大学
平成25年度							
優勝	日本大学	第2位	専修大学	第3位	明治大学	第4位	立教大学
第5位	早稲田大学	第6位	筑波大学	第7位	該当なし	第8位	該当なし
平成26年度							
優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	立教大学	第6位	東京農工大学	第7位	日本獣医生命科学大学	第8位	該当なし

平成27年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	専修大学	第4位	早稲田大学
第5位	立教大学	第6位	東京農業大学	第7位	慶應義塾大学	第8位	日本獣医生命科学大学

平成28年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	専修大学	第4位	慶應義塾大学
第5位	東京農業大学	第6位	早稲田大学	第7位	立教大学	第8位	筑波大学

平成29年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	東京農業大学	第4位	専修大学
第5位	早稲田大学	第6位	慶應義塾大学	第7位	筑波大学	第8位	東京大学

平成30年度

優勝	日本大学	第2位	専修大学	第3位	明治大学	第4位	早稲田大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	東京農業大学	第7位	筑波大学	第8位	東京農工大学

令和元年度

優勝	日本大学	第2位	専修大学	第3位	早稲田大学	第4位	慶應義塾大学
第5位	東京農業大学	第6位	明治大学	第7位	中央大学	第8位	麻布大学

令和2年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	早稲田大学	第4位	慶應義塾大学
第5位	立教大学	第6位	専修大学	第7位	中央大学	第8位	麻布大学

令和3年度

優勝	日本大学	第2位	専修大学	第3位	慶應義塾大学	第4位	筑波大学
第5位	明治大学	第6位	東京農工大学	第7位	立教大学	第8位	東京農業大学

令和4年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	早稲田大学	第4位	専修大学
第5位	慶應義塾大学	第6位	中央大学	第7位	立教大学	第8位	麻布大学

令和5年度

優勝	日本大学	第2位	明治大学	第3位	早稲田大学	第4位	慶應義塾大学
第5位	専修大学	第6位	東京農業大学	第7位	東京農工大学	第8位	筑波大学

馬術観戦のマナーに関するお願い

馬術はオリンピック種目の中で唯一動物と共に行う競技として知られますが、その特殊性を持つために観戦に際して馬の習性への理解と配慮が大切です。関東学生馬術協会ではご来場いただいた皆様に馬術観戦を楽しんでいただくとともに、出場する人馬への安全とセキュリティの確保を行いながら大会を一緒に盛り上げていくための観戦ルール作りを行いました。

【観戦に関するご注意】

- ・ 走ったり大きな声を出さないでください。
- ・ お子様の行動には十分にご注意ください。
- ・ 観客席やラチ（柵）の外側からのご観戦・撮影をお願いします。厩舎地区や待機馬場を含むアリーナへの立ち入りはできません。
- ・ 競技中は静かに見守り、走行・演技終了後には温かい拍手をお送りください。
- ・ 競技中の馬場付近でのご移動はご遠慮ください。
- ・ 馬が近くにいるときの雨傘、日傘の使用、特に傘の開閉動作にご注意ください。
- ・ 総合馬術のクロスカントリー競技をご観戦の際は、競技開始 10 分前までに競技エリにお入りいただき、経路と被らない位置での観戦をお願いします。なるべく関係者が多くいる場所を選ぶようにしてください。
- ・ 競技の合間に行う散水にご注意ください。風向きによっては予期せぬ方向に飛散する恐れがあります。

【撮影に関するご注意】

- ・ 報道関係者の方は事前に申請をお願いします。大会が認めた場合を除き営利目的での撮影は固くお断りします。
- ・ 競技の撮影は可能です。観客席やラチ（柵）の外側からとし、他のお客様の観戦の妨げにならないようご配慮ください。
- ・ 競技中・演技中に立つ・座るなどの動作のほか、場所の移動はご遠慮ください。
- ・ フラッシュを用いた撮影はできません。
- ・ 撮影時に傘の使用はできません。ご来場前にレインコート等をご準備ください。
- ・ 厩舎、馬場内への立ち入ったの撮影はできません。
- ・ SNS での使用はできますが、大会や選手、馬匹、関係者に社会的評価を損なわせる恐れのある撮影や投稿は固くお断りします。また、選手の個人情報（主催者発表の情報を除く）に触れることがないようにお願いします。

【その他】

- ・ 盗撮が疑われるような行為を見かけた場合は大会本部までご連絡ください。
- ・ 写真や動画の撮影、投稿、その他関東学生馬術協会が定める諸規定やその他注意・禁止事項に反する行為により発生したトラブルや事故について、関東学生馬術協会は一切の責任を負いません。

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



Japanese
Olympic
Committee

